

ライバル企業と連携

中小製造業、強み持ち寄る



今野製作所と浜野製作所は共同で設計から量産までの受注を目指す(東京・墨田の浜野製作所)

の特注品が中心。一方、浜野製作所は量産技術に強みを持つ。設計段階から量産化に適したデザインを取り入れるなど、両社の得意分野を融合す

ステンレス板金の今野産まで一括受注する体制を築く。今野が設計と試作、浜野が量産を担当する。営業も共同で担い、受注回復への足がかりに製品を設計から試作、量

今野製作所は小ロットの中心。一方、浜野製作所は量産技術に強みを持つ。設計段階から量産化に適したデザインを取り入れるなど、両社の得意分野を融合す

今野製作所・浜野製作所
三和軽合金・城陽メタル

設計↓量産一括で 共同出資で新会社

中小製造業の間で競合する他社と連携の道を探る動きが出てきた。試作や設計、量産など得意な分野で事業を補完し合うほか、共同で新事業を始めるケースもある。大企業の業績には底打ちの兆しが見えてきたが、中小各社の現状はなお厳しい。本来なら限られた需要を奪い合う競合同士が強みを持ち寄り、単独では困難な新規顧客の開拓を目指す。

計画だ。自動車、産業機械向け部品製造、三和軽合金製作所(大阪府摂津市)の三宅正恒社長は、同業の城陽メタル(京都府宇治田原町)の黒野則之社長と共同出資で店舗内装用商品の製造会社を設立した。

アルミ材の加工技術を持ち寄り、透明樹脂パネルとLED(発光ダイオード)照明で陳列物を華やかに見せる棚を開発、このほど発売した。飲食

店やホテルから引き合いがあるという。両社とも最近の受注額は前年同期比6割前後で推移する。かつては受注を競ったこともあったが、両社長は「下請けの仕事頼みから抜けて出す良い機会」と口をそろえる。

大阪府内で基板の設計、製造、開発を手掛けるE.M.S.(高槻市)とタイシン(同)、トータス(大阪市)の3社は共同受注サービスを開始した。製造から電子部品の実装まで、最短3日で行う短納期を武器に受注拡大を狙う。従来の納期は7~10日だった。設計はタイシン、注して初年度1億円の売り上げを目指す。